CNIPA、グリーン技術専利分類体系の更新版を公表

2023 年 8 月 31 日
JETRO 香港事務所

2023 年 8 月 30 日、国家知識産権局（CNIPA）弁公室が「**グリーン技術専利[1]分類体系**」（绿色技术专利分类体系[2]）を公表した（8 月 23 日付け）。

「**“十四五”知的財産権保護運用計画**[3]」（国務院 2021 年 10 月）において、「グリーン知財権の統計および監視を整備し、グリーン専利技術の産業化を促進し、産業のグリーントランスフォーメーションを支援する」との記載があるところ、これに対応して「グリーン低炭素技術専利分類体系」（绿色低碳技术专利分类体系[4]）（CNIPA 2022 年 12 月）が公表されていた。今次公表物はその更新版であると言える。

主な変更点は以下のとおり（別紙も参照）。

- ✓ タイトルから「低炭素」（低碳）を削除。
- ✓ 5 つの既存の一級技術分枝[5]を再配置。対応する IPC も修正。
- ✓ 7 つの新しい一級技術分枝を追加。

また、CNIPA は、今年 5 月に、旧分類体系に基づき、過去 6～7 年の統計分析結果をまとめた「2023 年グローバルグリーン低炭素技術専利統計分析報告」を公表している[6]ところ、今後は更新後の分類体系に基づいて分析がなされるものと考えられる。

なお、日本国特許庁も GXTI 及びそれに基づく分析結果を公表している[7]。

（以上）

---

1 「定義と範囲」欄において、「グリーン技術とは、消費を削減し、汚染を減らし、生態系を改善し、生態学的文明の建設を促進し、人間と自然との調和的共存を実現する新たな技術」であって「持続可能な発展を実現するための技術」であり、「グリーン技術専利とは、発明の主題がグリーン技術である専利」であって「先行技術と比較して、天然資源の消費を削減または停止し、環境に優しいという直接的かつ明白な技術的効果がなければならない」と説明されている。

2 ［原文］https://www.cnipa.gov.cn/art/2023/8/30/art_75_187105.html

3 ［原文］http://www.gov.cn/zhengce/content/2021-10/28/content_5647274.htm

4 ［原文］https://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2022-12/28/content_5733911.htm

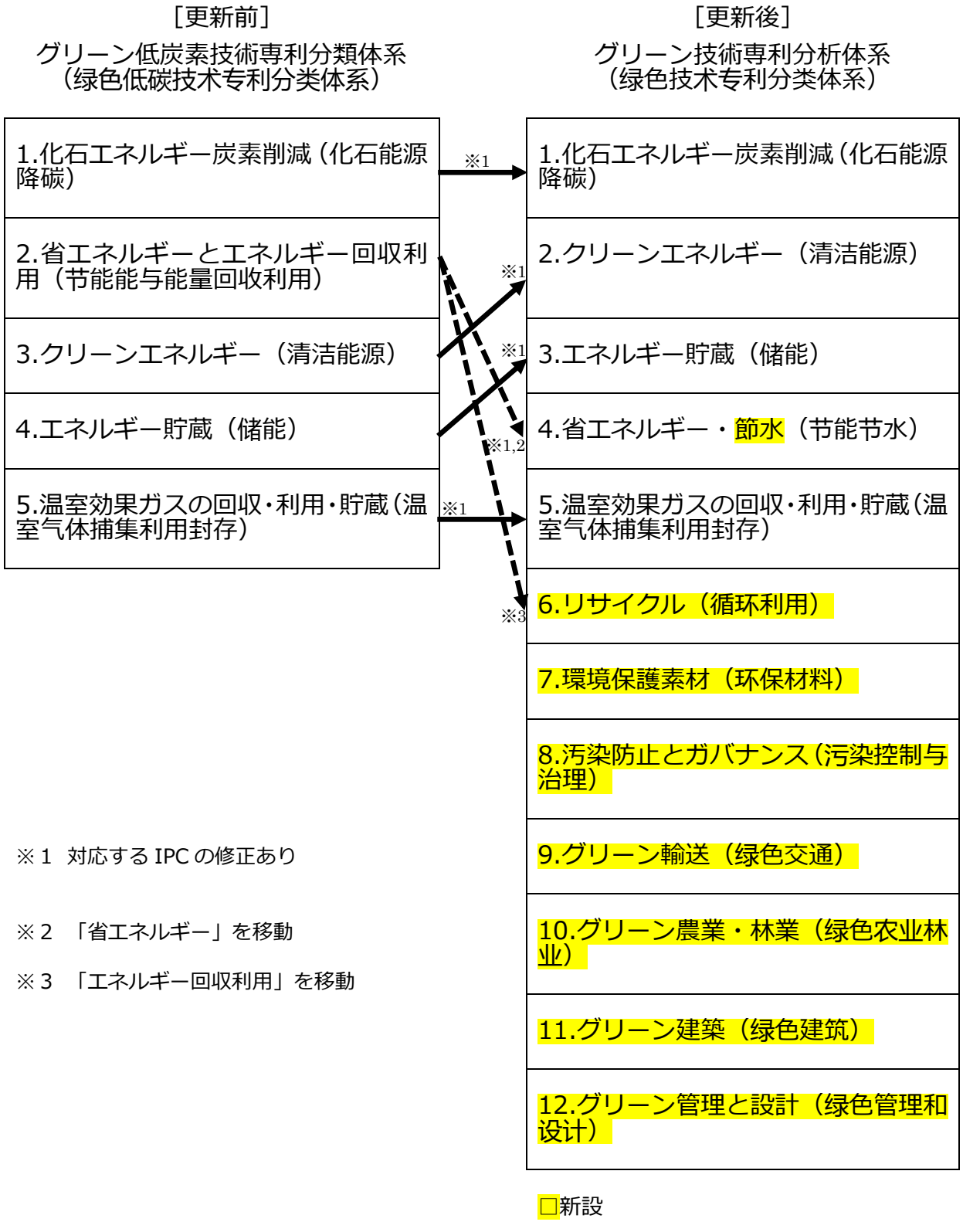
5 本分類体系は一級技術分枝（最上位）～四級技術分枝（最下位）の四段階の階層構造で構成されている。

6 JETRO レポート、「CNIPA、グリーン炭素技術専利分類体系を用いた統計分析結果を公表」（2023 年 6 月 6 日）https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/asia/cn/ip/pdf/report_20230606.pdf

7 JPO ウェブサイト、https://www.jpo.go.jp/resources/statistics/gxti.html

（別紙）

一級技術分枝の更新前後の対応表



※１　対応する IPC の修正あり

※２　「省エネルギー」を移動

※３　「エネルギー回収利用」を移動

□新設

（以上）